

テーマ「コロナ禍の病院運営3」

新たなぼやきです。

どうやら巷では本当に感染が蔓延してきているようです。無症状感染者も相当いると思われる、これまでは「持ちこまない・持ち込ませない」という方針でやってきました。これからは方向転換し「感染しない・感染させない」という自己防衛の方向でやっていきたいと思いません。無症状でもPCR検査をすればするほど感染者が見つかります。新たなステージに来たのは間違いなく、国の感染症対策分科会の方針決定が気になるところです。

家庭内で感染者が一人見つければ、潜伏期間の短さ、また、感染力の強さから考えると、他の家族への感染はすでに完了していると考えべきでしょうか？となると、今回のフェーズでは家庭内でも「感染しない・感染させない」という方針で行動しなければなりません。自分がすでに感染源となっているという可能性を考え、家庭内でも距離感を持って生活しなければならぬ可能性があります。と言っても、小さなお子さんのいる家庭では現実のところ不可能ですかね。

デンマークではマスクも行動制限も撤廃し、集団免疫獲得の方向に動いています。一九一八年に発生したスペイン風邪もほぼ二年で収束しており、今後、新型コロナウイルスも弱毒化していくものと思われれます。あと一息です。

高齢の患者さんを守るのが一番の留意点と考えます。感染防御に努め、患者さん、家族を両方守っていきましょう。宜しくお願い致します。

令和四年二月四日 藤井 茂

第二十三章



藤井 茂